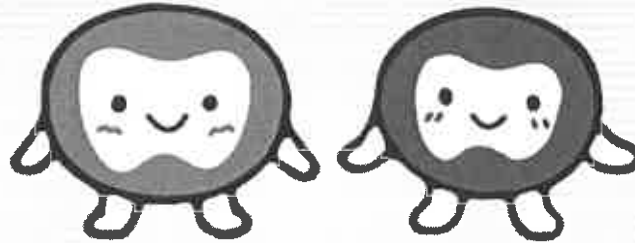


市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修

在宅歯科医療について？



はにまるくん
8020

はにいちゃん
8020



岩手県歯科医師会
創立100周年

岩手県歯科医師会
口腔保健センター事業運営委員会
及川陽次

本日のレジメ

(1)在宅歯科医療について

①在宅歯科医療の具体的内容

訪問歯科診療で可能な診療内容とそれによる改善とは

②在宅歯科医療の利用方法

- ・訪問歯科診療を行う歯科医師との連携の仕方
- ・医療保険と介護保険の使い分け

(2)歯科と介護の連携について

- ・摂食嚥下のメカニズムと、高齢者においてどのような摂食嚥下障害が生じるのか
- ・高齢者に多い全身疾患と有病者に求められる口腔ケア
- ・摂食嚥下リハビリテーション

本日のレジメ

(1)在宅歯科医療について

①在宅歯科医療の具体的内容

訪問歯科診療で可能な診療内容とそれによる改善とは

②在宅歯科医療の利用方法

- ・訪問歯科診療を行う歯科医師との連携の仕方
- ・医療保険と介護保険の使い分け

(2)歯科と介護の連携について

- ・摂食嚥下のメカニズムと、高齢者においてどのような摂食嚥下障害が生じるのか
- ・高齢者に多い全身疾患と有病者に求められる口腔ケア
- ・摂食嚥下リハビリテーション

歯科訪問診療ってなに？

身体的、精神的理由で
歯科診療所に通院できない方に対し、
歯科医師、歯科衛生士が
自宅や介護施設、病院等に訪問し、
歯科治療や専門的口腔ケアを行うこと。

- ・常時寝たきりの状態
またはこれに準ずる状態
- ・16km以内
- ・患者さんの求めに応じたもの

※デイサービスへは？

※月に1回外来通院してる方は？

5



3/8

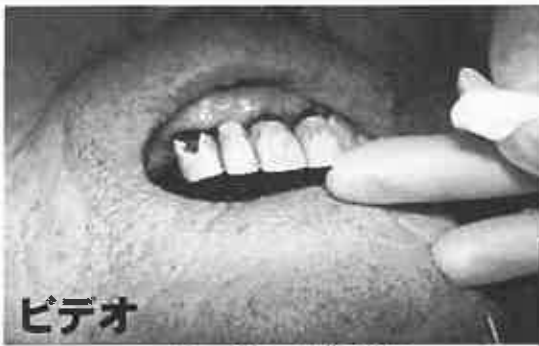
| | | |
|----------|---------|-------------|
| H17.2.16 | Wt 55kg | Alb 4.3g/dl |
| 18.3.02 | Wt 42kg | Alb 2.4g/dl |

体重減少率(%loss of body weight、%LBW)

$$\frac{(\text{通常体重} - \text{現在体重}) \times 100}{\text{通常体重}} = \frac{(55 - 42) \times 100}{55} \doteq 13(\%)$$

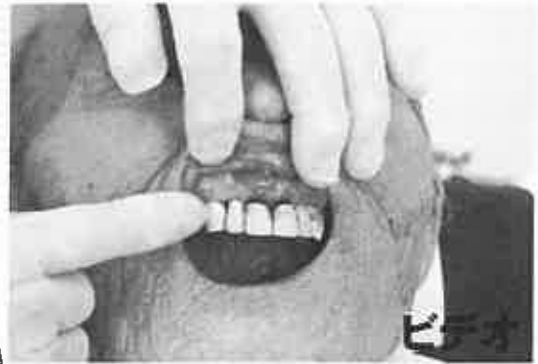
高リスク 1ヶ月に $\geq 5\%$ 3ヶ月に $\geq 7.5\%$ 6ヶ月に $\geq 10\%$

入院中の歯科治療



ビデオ

3/8 ビデオ



ビデオ

3/13 ビデオ



緊急に
Brの動
揺をおさ
え、義歯
の使用を
可能にし
た

退院2週間後の歯科受診



3/13に義歯調整終了 3/27 ビデオ

| | | |
|----------|---------|-------------|
| H17.2.16 | Wt 55kg | Alb 4.3g/dl |
| 18.3.02 | Wt 42kg | Alb 2.4g/dl |
| 3.27 | Wt 46kg | Alb 3.3g/dl |



退院後2カ月後の歯科受診



3/13に義歯調整終了 5/15 ビデオ

| | | |
|----------|-----------|-------------|
| H17.2.16 | Wt 55kg | Alb 4.3g/dl |
| 18.3.02 | Wt 42kg | Alb 2.4g/dl |
| 3.27 | Wt 46kg | Alb 3.3g/dl |
| 5.15 | Wt 46.8kg | Alb 3.7g/dl |

退院後3カ月後の自宅で



3/13に義歯調整終了 6/17 ビデオ

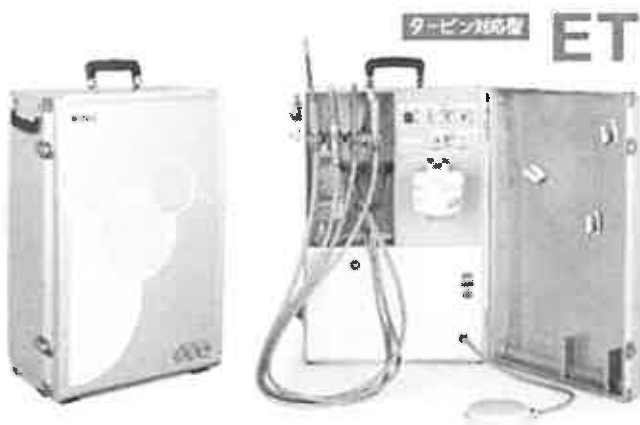
| | | |
|----------|-----------|-------------|
| H17.2.16 | Wt 55kg | Alb 4.3g/dl |
| 18.3.02 | Wt 42kg | Alb 2.4g/dl |
| 3.27 | Wt 46kg | Alb 3.3g/dl |
| 5.15 | Wt 46.8kg | Alb 3.7g/dl |
| 6.12 | Wt 48.5kg | Alb 4.0g/dl |

在宅で出来ること

- ・ 歯科治療
- ・ 口腔ケア
- ・ お口のリハビリテーション

11

ポータブルユニット

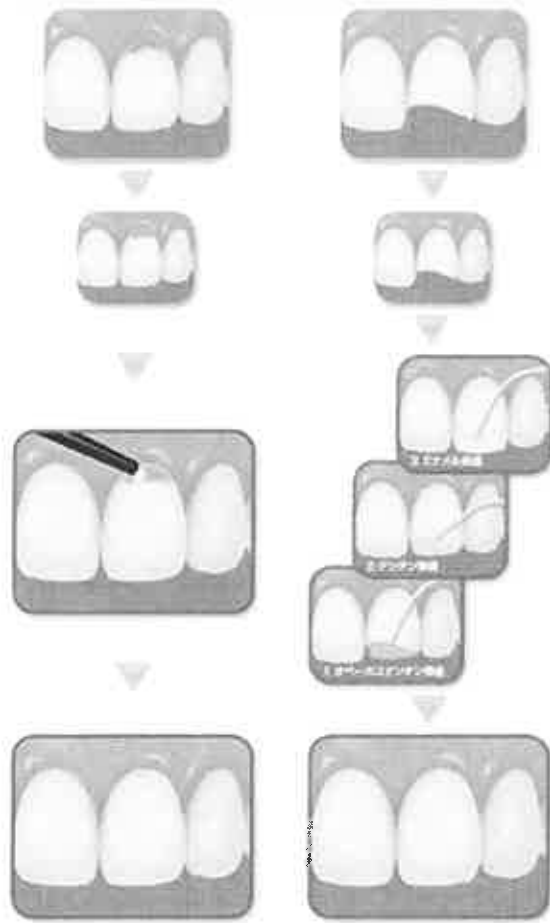


ポータブルX線



※岩手県歯科医師会で貸し出しあり

・CR充填



・拔牙

※残根上義齒

・抜髓、感染根管治療

神経の治療



便宜的拔牙

・義歯



レジン床義歯



レジン床義歯



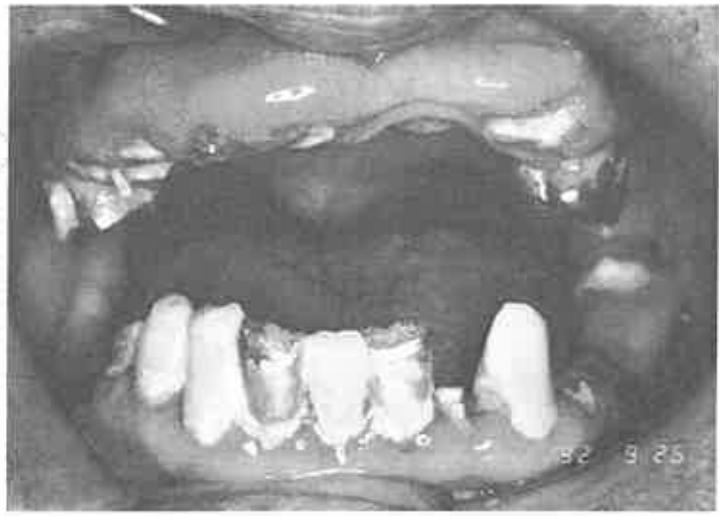
レジン床義歯



・歯周病の治療

歯垢、歯石の除去

動揺歯の固定



「口腔ケアの目的」

- 1)むし歯、歯周病の予防
- 2)口臭の予防
- 3)味覚の改善
- 4)唾液分泌の促進
- 5)誤嚥性肺炎の予防
- 6)会話などのコミュニケーションの改善
- 7)生活のリズムを整える
- 8)口腔機能の維持・回復

定期的に口腔ケア 早め早めに治療

口腔がん検診



舌がん



本日のレジメ

(1) 在宅歯科医療について

① 在宅歯科医療の具体的内容

訪問歯科診療で可能な診療内容とそれによる改善とは

② 在宅歯科医療の利用方法

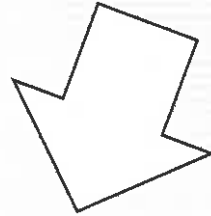
- ・訪問歯科診療を行う歯科医師との連携の仕方
- ・医療保険と介護保険の使い分け

(2) 歯科と介護の連携について

- ・摂食嚥下のメカニズムと、高齢者においてどのような摂食嚥下障害が生じるのか
- ・高齢者に多い全身疾患と有病者に求められる口腔ケア
- ・摂食嚥下リハビリテーション

ご家族

ケアマネージャー



歯科医師

チームかまいし

訪問歯科診療に関する歯科—多職種連携フロー

いつ

- 医療・介護従事者等が患者・利用者宅を訪問したとき
- 施設入所者・利用者の健康状態を確認したとき

どんなとき

- ◆ 患者・利用者が歯科治療を希望している
- ◆ 歯科治療を要する状態と思われる(医療・介護従事者等の判断)

「かかりつけ歯科医」か
「患者・利用者が希望する歯科医」
につなぐ

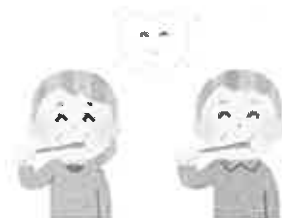
訪問開始

訪問不可

「釜石歯科医師会多職種委員会」
につなぐ

医療連携参加の意思が
ある会員につなぐ

かかりつけ歯科医の決定
→ 訪問開始



訪問
不可

| | |
|------|------------------------|
| ご依頼元 | 事業所名 氏名 電話番号 FAX |
|------|------------------------|

| | | |
|-----------|-------|----|
| フリガナ | 生年月日 | 年齢 |
| 患者様名 | M・T・S | 歳 |
| 住所(自宅・勤務) | 電話 | |

ご依頼内容

| | | | | |
|----------|------|---------|---------|------|
| 歯が痛い | 歯が動く | 詰めない | 口が汚れている | 傷がある |
| 入れ歯が合わない | 口が臭う | 飲み込みが悪い | むせる | 口が悪く |
| その他() | | | | |

以下、お分かりになる箇所でお答えください

| | | |
|------|-----|-------|
| 全身疾患 | 1) | 主治医 |
| | 2) | |
| | 3) | |
| 認知症 | 有・無 | 医師の署名 |
| 特記事項 | | |

かかりつけの歯科医師がいる(先生) いない
 見て欲しい歯科医師がいる(先生) どの先生でもよい

承諾書 ご依頼に関する患者様の承諾(本人または家族の署名、押印)を願います。

印

歯科治療依頼スクリーニング

歯科治療の必要性のご判断にご利用ください

| |
|--|
| <input type="checkbox"/> 歯が痛い <input type="checkbox"/> 冷たいものや熱いものがしみる <input type="checkbox"/> 歯に穴があいている、黒くなっている <input type="checkbox"/> 被せものや詰めものがとれている <input type="checkbox"/> 歯ぐきから出血したり歯ぐきが腫れている <input type="checkbox"/> 歯がぐらぐら動く <input type="checkbox"/> 口臭がひどい <input type="checkbox"/> お口の中に白い斑点がある。赤くただれている |
| <input type="checkbox"/> 入れ歯がない、使用していない <input type="checkbox"/> 入れ歯を入れると痛い <input type="checkbox"/> 入れ歯が落ちたり、はずれやすい <input type="checkbox"/> 入れ歯が欠けたり、こわれている <input type="checkbox"/> 入れ歯のパネのかかる歯が抜けている、欠けている <input type="checkbox"/> 入れ歯のあたる歯ぐきや舌や頬の粘膜に傷ができています |



居宅療養管理指導に係る情報提供書

事業所名 柳中
 患者様名

ご依頼いただきました患者様の病状、経過等、口腔ケア関連情報についてご報告いたします

| | |
|--|----------------|
| 訪問診療開始日:平成 年 月 日 | 訪問病院 国 / 日・月・年 |
| 診療予定期間: 日・月・年 | |
| 歯科治療の必要性 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | |
| <input type="checkbox"/> むし歯治療 <input type="checkbox"/> 歯周病 <input type="checkbox"/> 歯肉病 <input type="checkbox"/> 顎関節症 <input type="checkbox"/> 顎内治療 <input type="checkbox"/> その他 | |
| <input type="checkbox"/> 修繕、改床 <input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 消炎治療 <input type="checkbox"/> 歯石除去 <input type="checkbox"/> その他 | |
| <input type="checkbox"/> 摂食嚥下機能療法 <input type="checkbox"/> 嚥内治療 <input type="checkbox"/> その他 | |
| 口腔ケアの必要性 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり | |
| <input type="checkbox"/> 口腔清掃・清掃指導 <input type="checkbox"/> 嚥食清掃・清掃指導 <input type="checkbox"/> 摂食嚥下機能訓練 <input type="checkbox"/> その他 | |
| 介護サービスを利用する上での留意点、介護方法及び日常生活上の留意事項 | |
| 報告日 平成 年 月 日 歯科医師名: _____ 歯科医師名: _____ | |

基本、すべて保険の範囲内で
 治療出来ます。

・介護保険(居宅のみ)

居宅療養管理指導

※介護保険が優先

・医療保険

交通費は実費徴収の場合有り

本日のレジメ

(1)在宅歯科医療について

①在宅歯科医療の具体的内容

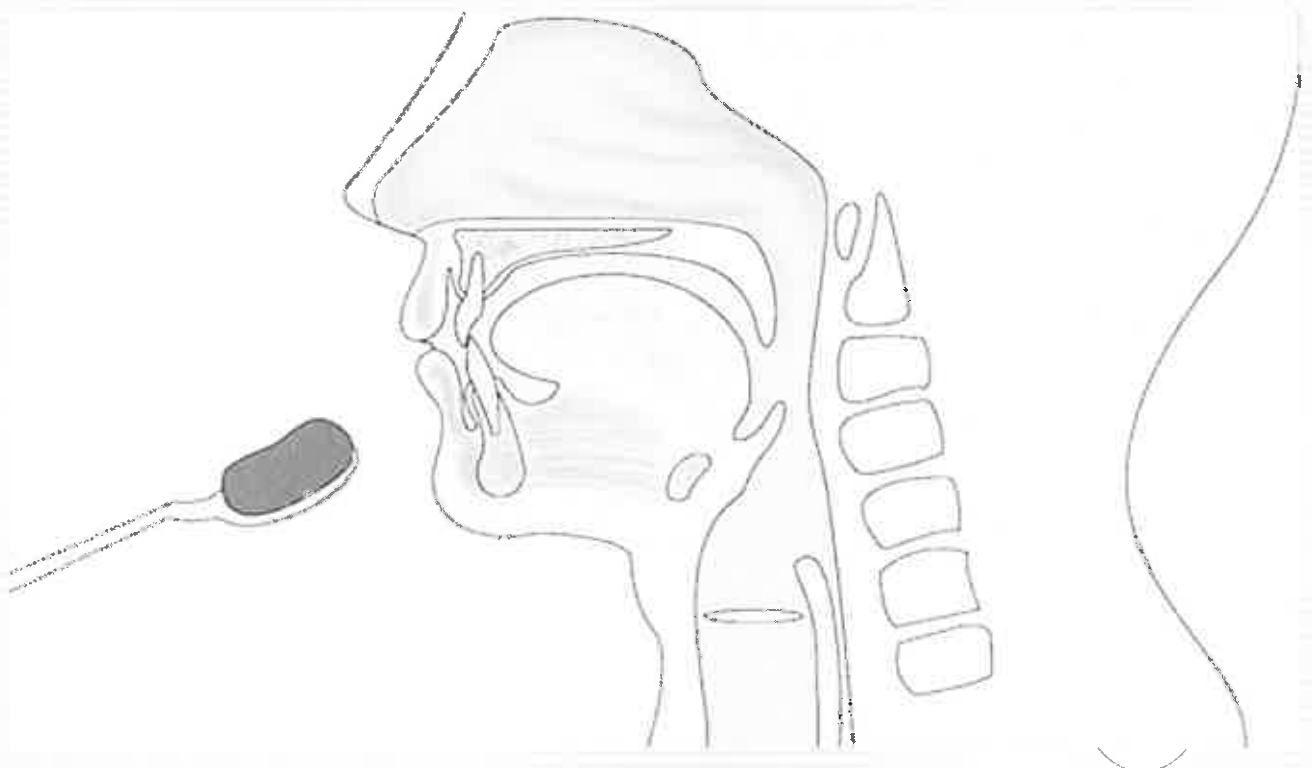
訪問歯科診療で可能な診療内容とそれによる改善とは

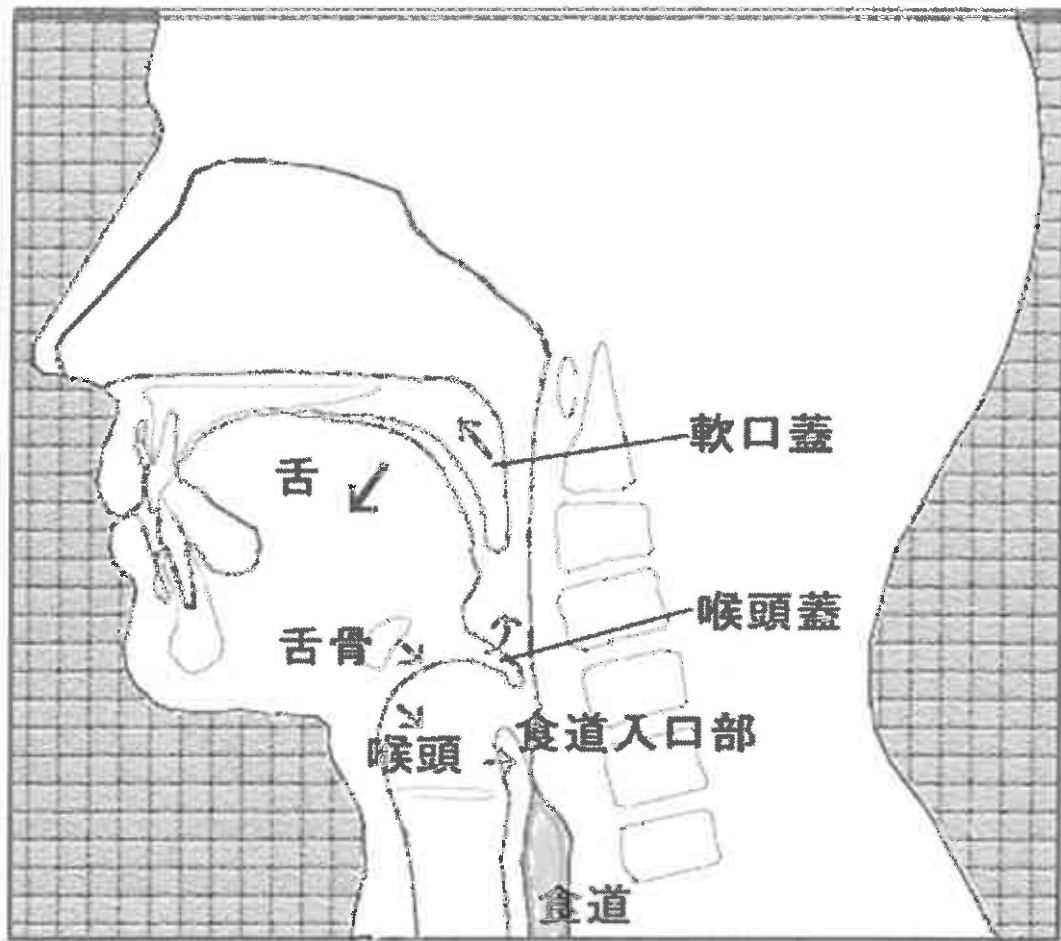
②在宅歯科医療の利用方法

- ・訪問歯科診療を行う歯科医師との連携の仕方
- ・医療保険と介護保険の使い分け

(2)歯科と介護の連携について

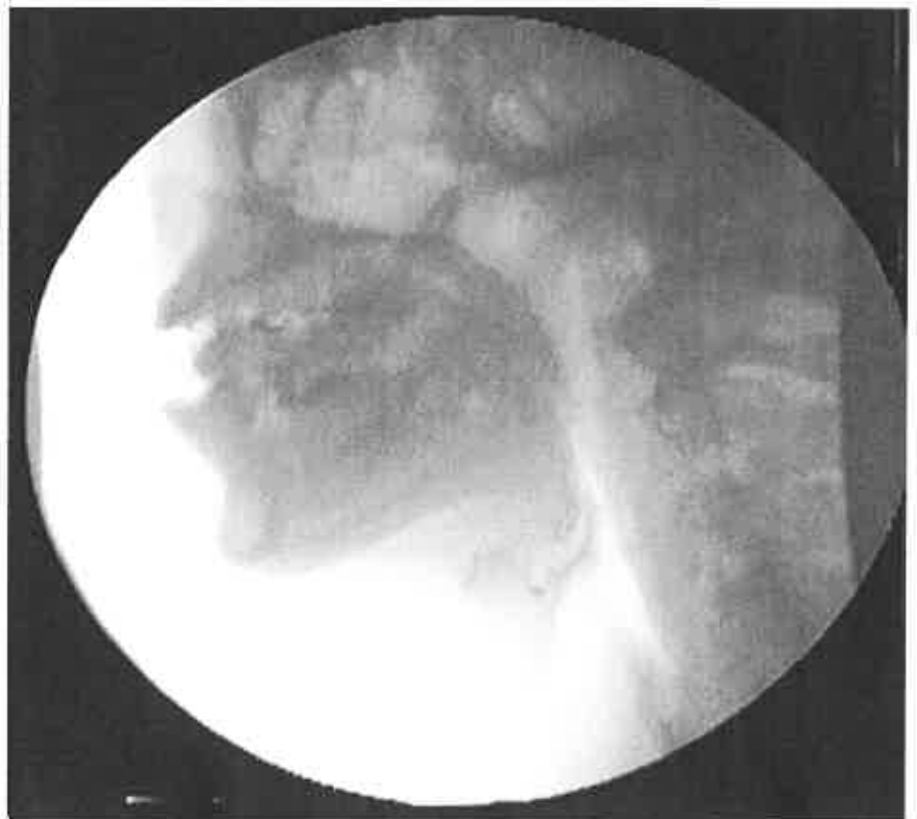
- ・摂食嚥下のメカニズムと、高齢者においてどのような摂食嚥下障害が生じるのか
- ・高齢者に多い全身疾患と有病者に求められる口腔ケア
- ・摂食嚥下リハビリテーション





えんげ
正常な嚥下

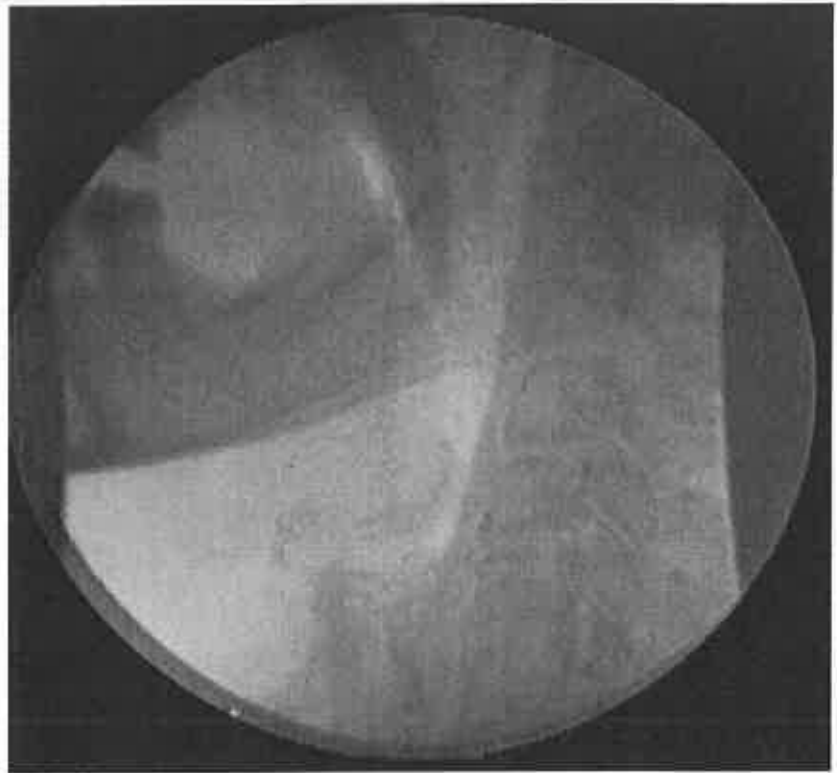
(ビデオ)

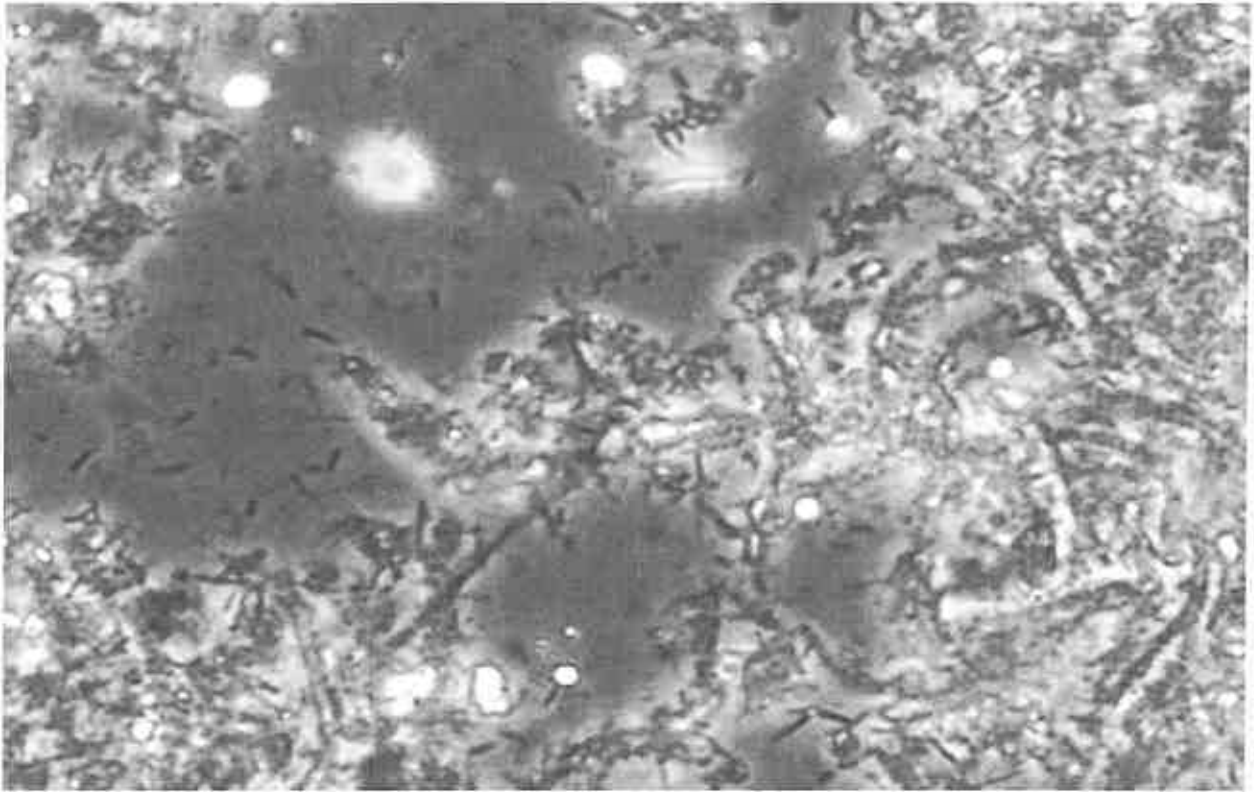


えんげ
嚥下障害によって起こる問題

誤嚥

(ビデオ)





ビデオ

え？ この病気 **歯**が原因！？

誤嚥性肺炎

細菌性心内膜炎

胃潰瘍

糖尿病

頸部蜂窩織炎

シェーグレン症候群

掌蹠膿疱症

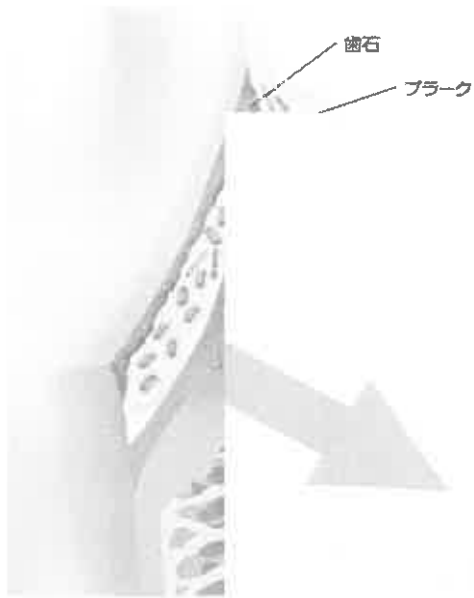
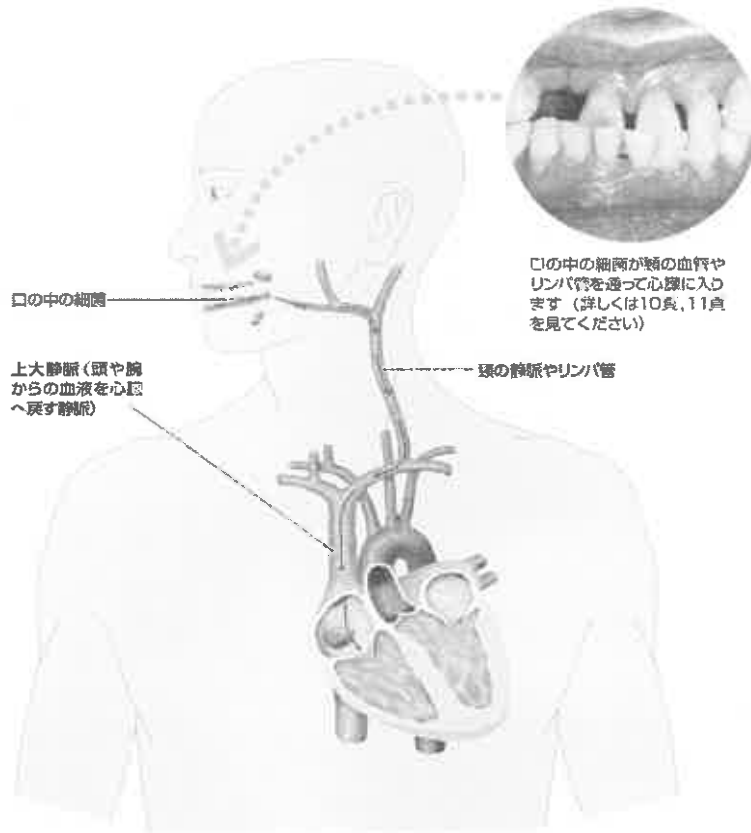
扁平苔蘚

尋常性天疱瘡

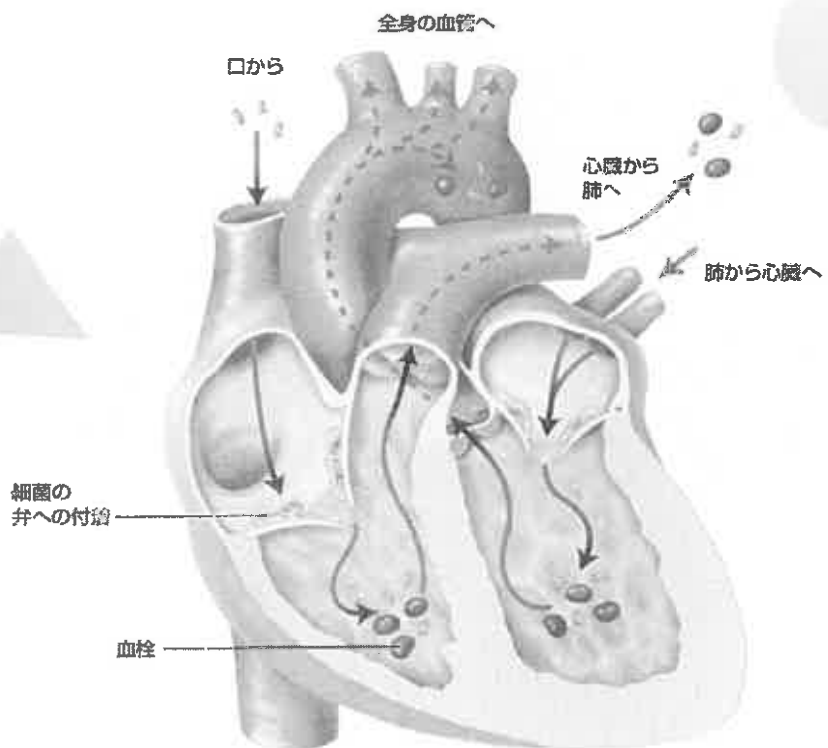
バージャー病

認知症

② 口の中の細菌が細菌性心内膜炎を引き起こす経路



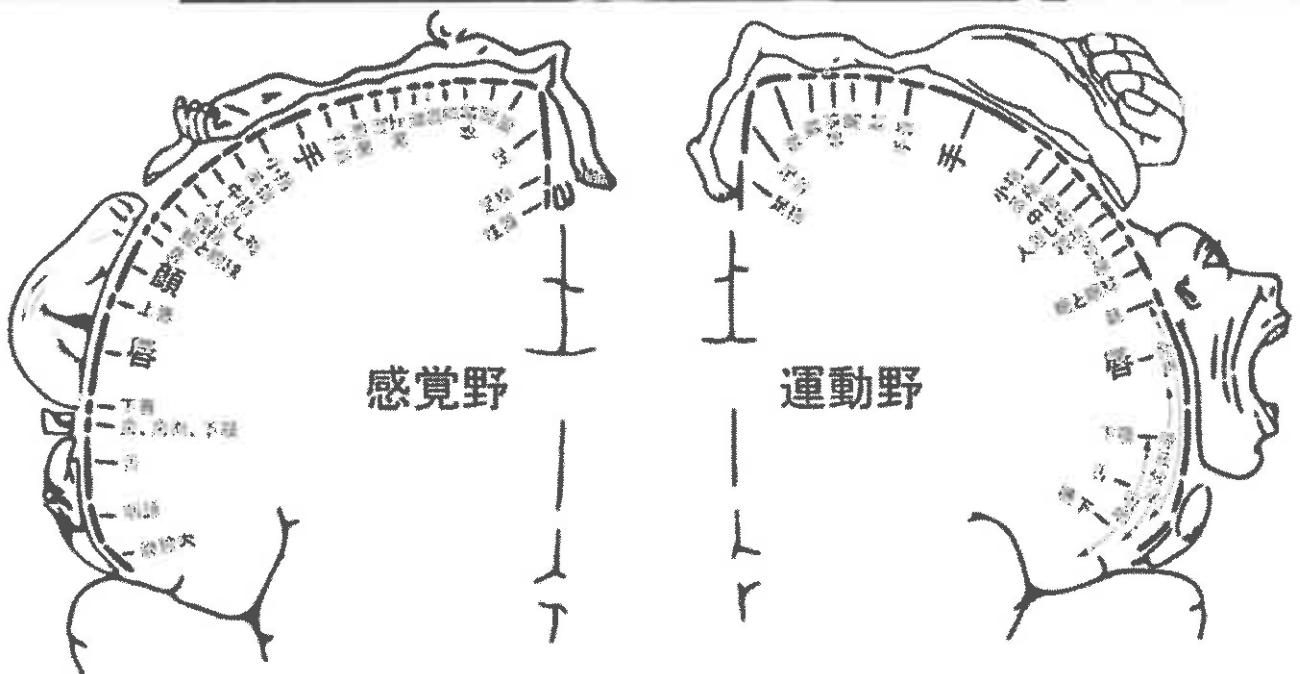
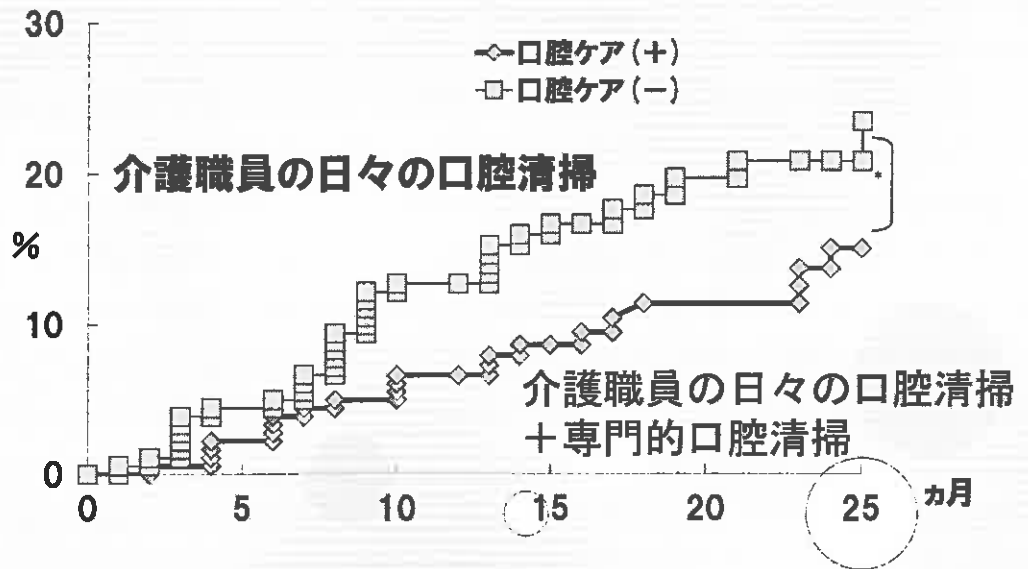
血管の隙間から歯周病の細



口腔清掃をきれいに行うと 肺炎は半分に減る



東北大学老年・
呼吸器病態学
佐々木英忠教授



嚥下体操

口を大きく開き、舌の先を喉の奥まで出し、喉の奥まで舌を伸ばして行いましょう。

1 姿勢



リラックスして背中がまっすぐになります。

2 深呼吸



深呼吸を繰り返して、のどがほぐれます。

3 首の体操



ゆっくりと首を後ろに倒す。反対も同様。首を前に倒す。ゆっくりと首を後ろに倒す。首を右に倒す。ゆっくりと首を左に倒す。

4 肩の体操



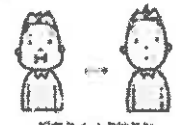
両手を肩の上に置き、左右に揺らすのを繰り返す。両肩の骨を上げておろす。両手を肩の後ろ、後ろから肩へかけて揺らす。

5 口の体操



口を大きく開け、舌を舌の先で舌の奥まで伸ばす。舌を舌の先で舌の奥まで伸ばす。

6 顔の体操



鼻を左右に揺らす。唇を左右に揺らす。

7 舌の体操



舌をべーっと出す。舌を舌の奥の方へ出す。舌を舌の奥の方へ出す。

8 歯茎の体操



「バビババ」がくちくちを繰り返す。

9 喉の体操



舌を舌の先で舌の奥まで伸ばす。

耳下腺

耳たぶのやや前方、上の歯茎のあたり

おたぶのやや前方、上の歯茎のあたりにあたる部分を指で押さえて、おたぶをやさしく揺らす。おたぶの奥の方まで押さえると、スプーンがはさまるところです。5~10回繰り返します。



顎下腺

喉の骨の前側の柔らかい部分

顎下腺は、喉の骨の前側の柔らかい部分です。舌をのぞき、喉の下からあごの裏までを指で押さえて、おたぶを揺らす。5~10回繰り返します。



舌下腺

下顎から舌を押し上げる

舌下腺は、あごの裏のとがった部分の前側、舌の付け根にあります。舌を押し上げて、あごの裏の硬い部分で舌を揺らす。5~10回繰り返します。



① ほほ



1 口のほほを、ほほがふくらむようにスポンジ部分をきって内側から外側に動かしてほほす。

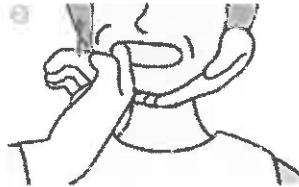


2 ぐくぐくと上下に5~6回動かす。

器具を使わない方法



3 相手の後ろ側に立ち、人差し指を口腔内に入れる。



4 ほほに力をあて内側から外側に向かって、少し強めに力を込めながら、ほほをのほほよく上下に動かす。



5 この動きを、相手のほうに行う。上下に動かす時、「1・2、1・2、1・2」と数をながら行くと、お互いにリズムがたれ、受け手がよくわかる。1・2で下は指を下げ、2で上に戻るといったようなリズムです。



6 次にほほの上部分は顔の上方向で、下部分は顔の下方向に向かって、外側に強く押し出すような力を加える。指の部分が10センチ程度がベストですが、上下を2段階に行いましょう。



② 頬



1 頬の内側を、頬がふくらむようにスポンジ部分をきって内側から外側に動かしてほほす。



2 ぐくぐくと上下に5~6回動かす。

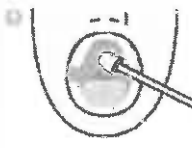


3 頬の内側を、頬がふくらむようにスポンジ部分をきって内側から外側に動かしてほほす。

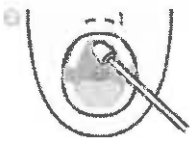


4 ぐくぐくと上下に5~6回動かす。

③ 上あご



1 上唇にスポンジ部分をきいて、上唇の内側をほほす。



2 頬の内側を、頬がふくらむようにスポンジ部分をきいて、頬の内側をほほす。



3 口の奥にスポンジ部分をきいて、口の奥の内側をほほす。



4 口の奥にスポンジ部分をきいて、口の奥の内側をほほす。

④ 舌



1 舌の表面を、舌がふくらむようにスポンジ部分をきいて、舌の表面をほほす。



2 舌の裏面を、舌がふくらむようにスポンジ部分をきいて、舌の裏面をほほす。



3 舌の裏面を、舌がふくらむようにスポンジ部分をきいて、舌の裏面をほほす。

器具を使わない方法



4 舌の表面を、舌がふくらむように指でほほす。



5 舌の裏面を、舌がふくらむように指でほほす。



6 舌の裏面を、舌がふくらむように指でほほす。

舌の訓練

①



両頬の下に両手の親指をおく。

②

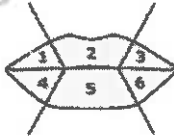


舌を上向きに押し上げて押し。

ポイント：舌を持ち上げる時の力で押すことです。舌と頬が密着するように舌を上げると、舌が持ち上げられる感覚がわかります。

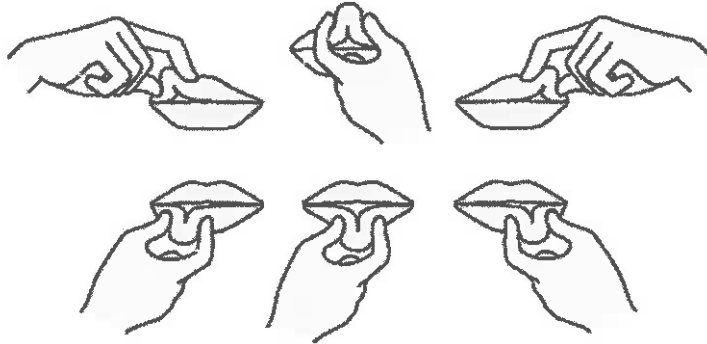
唇のマッサージ

①



上下それぞれの時を3分間する。

②



一指ごとに唇周りと人差し指を使って5回ほど締めたり伸ばしたりしてストレッチをする。3分間した唇のすべてを行う。

フェイスマッサージ

①



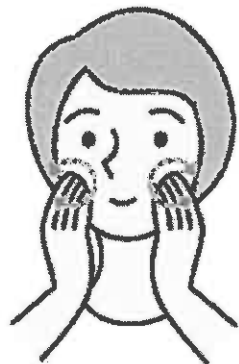
頬全体が太くなるまで行う。

②



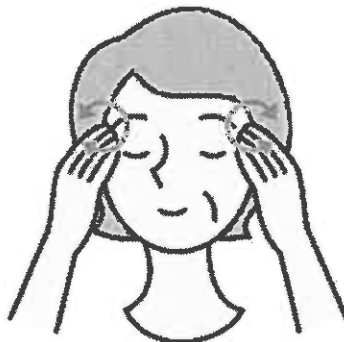
手のひらを擦って、唇の周りにほわほわと口周りのリフトアップをする。

③



頬全体がほわほわしたマッサージをする。

④



こめかみほわほわマッサージをする。

食支援

食事時の姿勢

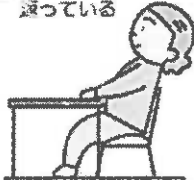
食形態

食事の介助

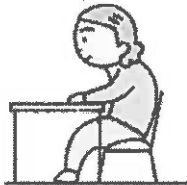
窒息した時の対応

悪い姿勢

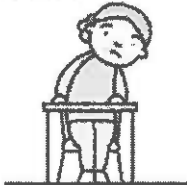
- ① 上体がそっくり返っている



- ② 背中が丸くなっている



- ③ 左右どちらかに傾いている



良い姿勢

あごは引き締め

からんとテーブルの間に
握りに余りつくくらい
の寸法

テーブルの幅さは
胸を楽にし、ひざが
90度に曲がるくらい



背は90度

イスの座面の高さは
ひざが90度に曲がる
くらい

足の裏は床

(靴の場合はフットレストに
きちんとつくこと)

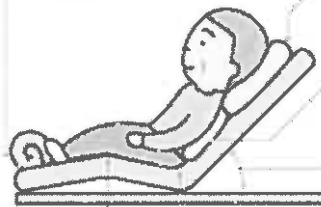
ベッド上での食事

あごがずり下がるないように、
お口にクッションをひき取り
つける。

首が後ろに倒れないように、
背に枕やクッションを置く。

リラックスした姿勢をとり、
ほろ酔いがある程度お酒やシヤ
ウナなども利用して、からだを
ほぐすようにする。

背した方が30～60度にはるよ
うでベッドをアジャストする。お酒し
た後は一人ひとりの腕なりま
す。お酒によっても血圧が必要
な場合もありますので、血圧値
を確認しましょう。



ひざは軽く曲げた状態にな
るよう、ベッドの所れ目に
ひざを合わせるか、ひざ下
にクッションを置後、ずり
落ちないようにする。

後はベッドの所れ目に背中が当たる。
上半身がリラックスして楽な状態の時、後が
下向きに倒れていることが多く取りかかると、
一度上方に引き上げましょう。



・嚥下訓練

ブローイング
アイスマッサージ
シャキョア訓練 などなど



・嚥下内視鏡検査

※岩手県歯科医師会で貸し出しあり



「口腔ケアの効果」

- 1) 食べる意欲の改善
- 2) 栄養状態の改善
- 3) 認知機能の維持・回復(痴呆予防)
- 4) 誤嚥性肺炎のリスクの回避

「食べることは生きること」

食べられる喜びをいつまでも

多職種連携

「おいしさは
幸せを味わうこと」